

平成14年5月2日

各 位

病虫害防除所所長

病虫害発生予察技術情報資料第1号の送付について

果樹カメムシ類の発生状況について別添のとおり資料を送付しますので、防除指導の参考にして下さい。

ビーティング調査において県下全域で捕獲されているうえ、地域によって偏りはあるものの、チャバネアオカメムシフェロモントラップ（中央部：ツヤアオカメムシ主体、中西部：チャバネアオカメムシ主体）及び予察灯（西部：ツヤアオカメムシ主体）での捕殺数が増加し、過去3年間の調査結果と比べても多くなっています。今後、樹園地に侵入し、新芽や果実が加害される恐れがありますので、今後の発生に注意してください。

高知県下における果樹を加害するカメムシ類の発生状況について

ビーティング調査※¹によるカメムシ類※²の捕獲頭数（春期）

平均調査日		東部	中央部	中西部	西部	平均	備考
		頭／100枝※ ³					
1999年	4月10日	—	10.9	6.7	0.0	7.7	スギ、ヒノキ、その他常緑広葉樹（ヤマモモ、ツバキ、カシ等）
2000年	4月 4日	—	0.7	0.0	0.0	0.5	スギ、ヒノキ、その他常緑広葉樹（ヤマモモ、ツバキ、カシ等）
2001年	4月12日	—	0.0	1.1	5.6	0.8	スギ、ヒノキ
2002年	4月 4日	1.5	12.0	8.9	8.9	7.5	スギ、ヒノキ

※1 ビーティング：カメムシが生息していると思われる樹木の枝を叩き、落下したカメムシを網で捕獲し、その数をカウントする。

※2 チャバネアオ、ツヤアオ、クサギ、オオクモヘリ各カメムシ

※3 捕獲頭数／100枝：1ヶ所当たり任意の5樹を抽出し、1樹当たり3枝を調査。数字は総ビーティング枝数を分母に、総捕獲虫数に100を掛けた数を示す。

チャバネアオフェロモントラップおよび予察灯における果樹カメムシ類※²の誘殺数（4月1日～20日）

	東部				中央部				中西部					西部				予察灯※ ⁴	
	生見	室戸	安芸	平均	山北	深淵	鏡野	平均	春野町	土佐市	押岡	浦ノ内	平均	名鹿	下益野	三崎	平均	深淵	三崎
1999年	—	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	2	1	5	3	0	1
2000年	—	—	14	14	14	0	11	8	0	0	1	22	6	183	218	233	211	2	14
2001年	0	0	58	19	53	1	20	25	0	—	0	20	7	30	25	16	24	0	0
2002年	11	10	32	18	188	38	40	89	6	1	5	72	21	24	28	41	31	1	111

※4 60W白色灯。